

令和5年度 特に効果のあった府立学校の取組一覧

(令和6年1月時点集計)

府立学校の業務改善等の取組について、新型コロナが5類感染症に移行し、教育活動がコロナ禍前に戻りつつあった令和5年度において、特に効果が感じられた取組として提供された好事例を集約の上掲載

1 ICTの有効活用

○ 教職員間の打合せの効率化等

1	取組内容	グループウェア(※)を活用して事前に内容を共有した。 また、 <ul style="list-style-type: none">・集合しての打合せを廃止した。・職員朝礼の回数を減らした。(長期休業期間中など)・職員朝礼では、特に伝える内容のみ口頭で伝達した。(生徒指導等、突発的な事象や個人情報 など) ※Microsoft Teamsなど
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none">・いつでも確認できるため確実な情報共有が可能となった。・時差出勤など多様な働き方への支援にもつながった。・授業準備や生徒対応に時間が取れるようになった。・口頭での共有内容とのメリハリをつけることができた。・小グループによる打ち合わせを行うことで、気持ちの余裕が生まれた。
2	取組内容	職員会議等において、グループウェア(※)を活用し、タブレット等から会議資料を見ることとした。 ※Microsoft Teamsなど
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none">・会議資料の印刷、配布等の準備の負担軽減となった。・資料収集の時間が短縮でき、時間通りに会議を始められた。・会議前に資料を確認できることで、担当部署での事前の連絡や確認が丁寧にされるようになり、会議時間の短縮ができた。
3	取組内容	職員会議等の開催回数を減らした。
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none">・教員に時間的余裕が生まれた。・教材研究や生徒への対応などの時間に余裕ができた。・重要案件について対応しやすくなった。

○ 調査・集計等の合理化

1	取組内容	グループウェア(※1)を活用し、各種アンケート(※2)を実施した。 ※1 Microsoft Forms、Classiなど ※2 学校評価アンケート、授業で使用する調査 など
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none">・集計に要する時間を大幅に短縮できた。・回収やグラフ化が短時間ででき、勤務時間の短縮につながった。・提出率・回答率が上がった。

○ 学習指導改善・保護者連絡等の合理化

1	取組内容	クラウドサービス等(※1)を活用して、生徒や保護者への配付物(※2)を配信した。 ※1 Classi、さくら連絡網 など ※2 緊急を要する連絡、保護者向け行事の案内・申込 など
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 保護者連絡にかかるタイムラグが縮小、タイムリーな連絡が可能になった。 年間を通じて、印刷、仕分け、配付にかかる時間が大幅に減少した。 確実なやり取りができ、保護者からも評価された。

2	取組内容	児童生徒の出欠連絡について、クラウドサービス等(※)を活用した。 ※Microsoft Teams、スクリレ、コドモン など
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 電話でのやり取りが大幅に減少し、情報管理もしやすくなった。 連絡内容をいつでも確認できるため業務の効率化が進んだ。

3	取組内容	毎日の保護者連絡(紙連絡帳)を、iPad活用による連絡(電子連絡帳)とした。
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の帰宅時刻まで入力可能なため、時間の余裕ができた。 写真の貼り付けができるため、様子を詳しく伝えることができる。

4	取組内容	一定以上の無連絡欠席などの場合を除き、家庭への連絡は時間外に行わないことを年度当初に保護者あて通知した。
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 時間外の電話連絡等がなくなった。 時間外勤務の縮減につながった。 保護者には理解いただいている。

2 行事の工夫・改善等

1	取組内容	府立体育館を借り切って体育祭を実施した。
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 前日準備・当日運営に従事する教職員の負担軽減につながった。 天候に左右されない運営が可能となった。 高温期に屋内で実施することについて、生徒からも好評であった。

2	取組内容	学習成果発表会など1日かけて実施していた学校行事を半日2日間に分けて実施した。
	効果 課題解決	準備や生徒指導の時間にゆとりを持つことができ、負担軽減につながった。

3	取組内容	販売実習等の休日行事参加について、参加規定を作成した。
	効果 課題解決	連続した休日行事参加が激減し、負担軽減となった。

3 部活動の運営改善

1	取組内容	部活動の月間活動計画を保護者宛てお知らせメールで配信することとした。
	効果 課題解決	計画を改めて見直すことにより、適正日数、時間に修正され、働き方改革を推進することができた。
2	取組内容	各部活動の活動予定表を作成し、併せて顧問の部活動当番を決めた。
	効果 課題解決	勤務時間を過ぎての放課後の部活動指導時間が週1回程度に抑えることができた。

4 その他

○ ノー残業ウィーク・ノー残業デイ等の設定

1	取組内容	<p>学校独自でノー残業ウィークやデイを設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回考査前にノー残業ウィークを設定 ・職員全体が取り組みやすい期間にノー残業週間（各自が週のうちに1日実施）を設定 ・月2回ノー残業デイ、2カ月に一度のノー部活動デイの設定 ・学期に1回全校一斉退勤期間（2週間）の設定
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間への意識がより強まった。 ・退勤時間を意識して働く雰囲気作りができた。 ・ワークライフバランスを考える雰囲気につながった。 ・超過勤務時間の削減ができた。

○ 執務環境の整備

1	取組内容	執務室の移転をきっかけとして、効率の良い導線等を考え、座席やロッカー等の室内配置を行った。同時に、不要物の廃棄や書類の整理整頓等も行った。
	効果 課題解決	移動時間、書類等を探す時間が短縮され、負担感の軽減も図られた。

○ 通知表

1	取組内容	通知票の所見記入を廃止した。
	効果 課題解決	学期末に成績処理等の作業に集中することができ、担任の負担軽減につながった。

○ 下校

1	取組内容	生徒の最終下校時を通年19時30分から19時へ繰り上げた。
	効果 課題解決	全体的に教職員の退勤時刻が早まった。
2	取組内容	毎日の下校指導を廃止し、学期の始めや長期休業明けなどに絞って重点的に行った。
	効果 課題解決	勤務のメリハリがつくようになった。

○ PTA関係

1	取組内容	PTAの役員選出をオンラインでの投票にした。
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 印刷、配付、回収、集計に関する負担を軽減できた。 期日までの回収率が高くなった。

○ 服務

1	取組内容	出張同等をシステム化し、副校長、事務担当者それぞれ行っていた届出内容の入力作業負担の軽減を図った。
	効果 課題解決	<ul style="list-style-type: none"> 副校長・事務担当者が、出張内容等を入力作業する必要がなくなった。 出張伺・報告書が1枚になり、ペーパーレス化に繋がった。 職員が年休取得日数や出退勤状況を各自の端末で確認できるようになった。

○ 情報共有

1	取組内容	職員会議の中で「生徒情報共有の時間」を設定し、職員全体で生徒情報共有ができるようにした。
	効果 課題解決	職員全体の生徒情報（インシデント等）の共有がスムーズになり、生徒理解が進み、生徒対応に良い影響を与えた。
2	取組内容	グループウェア(Teams)を活用した生徒との情報共有
	効果 課題解決	生徒への情報共有や、諸連絡を効率よく行うことができた。